



2019年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年12月12日

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3134 URL http://hamee.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 敦士
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員CFO (氏名) 富山 幸弘 (TEL) 0465-22-8043
 四半期報告書提出予定日 2018年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第2四半期の連結業績(2018年5月1日~2018年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第2四半期	4,639	10.2	466	△15.2	469	△0.2	337	8.5
2018年4月期第2四半期	4,210	17.6	550	42.0	470	32.1	310	30.7

(注) 包括利益 2019年4月期第2四半期 357百万円(17.1%) 2018年4月期第2四半期 305百万円(35.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第2四半期	21.00	20.71
2018年4月期第2四半期	19.54	19.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第2四半期	5,235	3,882	71.4
2018年4月期	5,042	3,596	68.8

(参考) 自己資本 2019年4月期第2四半期 3,736百万円 2018年4月期 3,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	0.00	—	5.50	5.50
2019年4月期	—	0.00			
2019年4月期(予想)			—	6.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年4月期の連結業績予想(2018年5月1日~2019年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,214	8.9	1,403	1.7	1,391	9.8	979	12.2	61.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年4月期2Q	16,063,600株	2018年4月期	16,053,600株
② 期末自己株式数	2019年4月期2Q	475株	2018年4月期	286株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年4月期2Q	16,053,449株	2018年4月期2Q	15,910,919株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年4月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、9月の日銀短観によると、豪雨や地震など度重なる自然災害の影響等により、大企業全産業のD I (業況判断指数)は前回調査より1ポイント悪化いたしました。堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調が続いております。一方で海外においては、米国の通商政策をめぐる世界各国との貿易摩擦の影響に対する懸念など、依然として景気の先行きに対する不透明感は拭えない状況にあります。

このような経営環境のもと当社グループは、モバイル(スマートフォン及び携帯電話)アクセサリーの販売について、テレビの情報番組等でも取り上げられるなど、スマートフォンケースとしては認知度が高い「iFace」シリーズの新作や、様々な人気キャラクターを活用したモバイルアクセサリー等、個性的な自社企画商品を継続的にリリースし販売拡大に注力いたしました。また、韓国連結子会社が事業譲受により取得したモバイルアクセサリーブランドについて、海外での販売が本格的にスタートするなど、グローバル展開の強化にも積極的に取り組みました。

自社開発のEC自動化プラットフォーム「ネクストエンジン」については、プラットフォーム化のメリットを最大限に活用し、EC事業者の売上拡大を支援する取り組みである商品レコメンドAIをβリリースしたほか、大手ソリューションプロバイダー、株式会社大塚商会様との販売パートナーシップを強化するなど、ネクストエンジンの付加価値向上に注力いたしました。

当社グループでは中長期的な企業価値向上のための経営施策の一環として、成長のための投資を戦略的に実施しております。最近の事例として、コマース事業においては海外に販路を有するアクセサリーブランドの取得、プラットフォーム事業においてはEC販売支援コンサル企業の取得(M&A)やネクストエンジンの機能強化を実現するための開発投資、その他セグメントにおいてはIoTサービスに対する研究開発等、従前よりも一歩踏み込んだ成長投資を積極化しております。これに伴い、ソフトウェア償却費の増加、のれん償却の発生、商標権等その他無形固定資産償却費の増加、研究開発費の増加等が顕在化し、各段階利益の伸びが抑制される結果となりましたが、中長期的な企業価値向上に資する重要な取り組みであると判断しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,639百万円(前年同四半期比10.2%増)、コマース事業で5.1%、プラットフォーム事業では41.0%の大幅増収となったものの、前述の成長投資の影響により営業利益は466百万円(同15.2%減)、経常利益は469百万円(同0.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は337百万円(同8.5%増)となりました。

参考指標として、成長投資を加味した収益力の指標であるEBITDAによる前年同期対比を以下に記載いたします。

(単位：千円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
税金等調整前四半期純利益	466,603	470,599	3,995	0.9%
支払利息	1,556	723	△833	-53.6%
減価償却費	119,379	156,460	37,081	31.1%
EBITDA	587,539	627,783	40,243	6.9%
研究開発費	17,456	59,892	42,435	243.1%

なお、iPhone等スマートフォンの新機種発表時期や年末のクリスマス需要などの影響により、第3四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて最も大きく、第2四半期と第4四半期連結会計期間は同水準、第1四半期連結会計期間が最も小さくなる傾向にあります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

① コマース事業

国内卸販売について、9月に発売された新型iPhoneの効果により、iPhone用ケースを中心に受注回復の兆しが見られましたが、商品の一部に欠品が発生し、10月末現在で119,292千円の受注残高を抱えるなど、十分な販売機会を捉えきれず、国内卸販売は前年同期に対してマイナスとなりました。

国内小売については、「iFace」ブランドの訴求力向上を目的として投入した「iFace液晶保護ガラス」や「iFace Finger Ring Holder」など、従前のスマートフォンケースのみであったラインナップから横展開を進めたことが奏功し、iPhoneの旧モデル向けのケースとともに「iFace」シリーズの売上が堅調に推移いたしました。また、昨年秋に米国の大手雑貨量販店との取引を獲得した米国連結子会社の売上高が大幅に伸長するなど、国内卸販売の落ち込みを国内小売と海外卸販売がカバーする構図となりました。

一方で、韓国連結子会社によるスマートフォンケースブランドの取得に伴う無形固定資産の減価償却費を始め、自社企画商品の周知のために実施したプロモーション強化に付随する広告宣伝費の増加等、販売及び一般管理費が増加した結果、コマース事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は3,793百万円(前年同四半期比5.1%増)、セグメント利益(営業利益)は715百万円(同6.6%減)となりました。

② プラットフォーム事業

ネクストエンジンの契約を獲得するうえで重要となる初期設定の円滑化を実現するため、従前より進めてきたサポート人員の充実、販売代理店等のパートナー活用、ネクストエンジンの機能強化など、各種施策の効果が発現したことに加え、IT導入補助金の対象サービスに認定されたことも後押しとなり、順調に新規契約の獲得が進み、総契約数3,440社(OEM除く、前連結会計年度末比345社増)、利用店舗数26,064店(同2,212店増、いずれも自社調べ)となりました。

また、前期に発行済株式の100%を取得して子会社化した、EC事業者向け販売支援コンサルティングを提供するHameeコンサルティング株式会社についても、当該セグメントへ貢献した結果、プラットフォーム事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は836百万円(前年同四半期比41.0%増)、セグメント利益(営業利益)は246百万円(同19.6%増)となりました。

③ その他

コマース事業、プラットフォーム事業のいずれにも明確に分類できない新たなサービスに係るものであり、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は8百万円(前年同四半期比0.4%減)、セグメント損益(営業損益)は先行投資フェーズであるため△84百万円(同70.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ192百万円増加し、5,235百万円となりました。これは主に、商品が149百万円、その他流動資産が116百万円、のれん等の無形固定資産が336百万円増加した一方で、買掛金や未払法人税等の支払いなどに伴い、現金及び預金が416百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ92百万円減少し、1,352百万円となりました。これは主に、買掛金が63百万円、未払法人税等が120百万円、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が60百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ285百万円増加し、3,882百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益337百万円の計上と、配当金の支払い88百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高、営業損益、経常損益ともに、概ね当初の計画どおりで推移しております。2018年6月13日「平成30年4月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,695,117	1,279,033
売掛金	1,260,718	1,245,605
商品	773,689	923,144
仕掛品	760	—
貯蔵品	82	162
その他	267,600	383,635
貸倒引当金	△9,185	△9,324
流動資産合計	3,988,783	3,822,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	207,575	193,700
減価償却累計額	△33,035	△26,606
建物及び構築物 (純額)	174,539	167,093
工具、器具及び備品	245,249	308,089
減価償却累計額	△156,017	△194,122
工具、器具及び備品 (純額)	89,232	113,967
有形固定資産合計	263,771	281,061
無形固定資産		
のれん	189,963	389,931
ソフトウェア	211,074	233,407
商標権	30,525	31,019
技術資産	—	9,394
顧客関連資産	—	102,153
その他	28	2,437
無形固定資産合計	431,591	768,343
投資その他の資産		
投資有価証券	177	177
関係会社株式	29,523	18,942
保険積立金	33,069	33,885
繰延税金資産	187,792	191,956
その他	107,566	118,641
投資その他の資産合計	358,130	363,603
固定資産合計	1,053,493	1,413,008
資産合計	5,042,276	5,235,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	296,484	233,411
1年内返済予定の長期借入金	99,892	73,086
未払金	283,986	389,762
未払費用	157,870	164,263
未払法人税等	278,823	157,938
賞与引当金	82,344	71,515
返品調整引当金	3,615	3,121
ポイント引当金	1,161	1,053
その他	30,508	30,331
流動負債合計	1,234,687	1,124,484
固定負債		
長期借入金	197,915	163,943
退職給付に係る負債	9,907	9,506
その他	2,890	54,593
固定負債合計	210,712	228,042
負債合計	1,445,400	1,352,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	533,442	535,376
資本剰余金	453,442	455,376
利益剰余金	2,472,446	2,718,216
自己株式	△261	△564
株主資本合計	3,459,069	3,708,404
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,918	28,406
その他の包括利益累計額合計	7,918	28,406
新株予約権	129,888	145,928
純資産合計	3,596,876	3,882,738
負債純資産合計	5,042,276	5,235,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年5月1日 至2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)
売上高	4,210,502	4,639,129
売上原価	2,085,143	2,316,005
売上総利益	2,125,358	2,323,123
返品調整引当金戻入額	6,198	3,615
返品調整引当金繰入額	3,000	3,121
差引売上総利益	2,128,556	2,323,617
販売費及び一般管理費	1,578,407	1,857,133
営業利益	550,148	466,483
営業外収益		
受取利息	128	416
為替差益	—	11,959
その他	1,858	3,843
営業外収益合計	1,986	16,218
営業外費用		
支払利息	1,556	723
支払保証料	3,197	3,806
持分法による投資損失	70,091	5,974
株式交付費償却	2,031	—
為替差損	2,628	—
その他	2,399	2,856
営業外費用合計	81,905	13,361
経常利益	470,229	469,341
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,258
特別利益合計	—	1,258
特別損失		
事務所移転費用	3,625	—
特別損失合計	3,625	—
税金等調整前四半期純利益	466,603	470,599
法人税、住民税及び事業税	168,192	136,291
法人税等調整額	△12,416	△2,825
法人税等合計	155,775	133,466
四半期純利益	310,827	337,132
親会社株主に帰属する四半期純利益	310,827	337,132

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年5月1日 至2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)
四半期純利益	310,827	337,132
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,533	20,487
その他の包括利益合計	△5,533	20,487
四半期包括利益	305,294	357,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,294	357,620
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	466,603	470,599
減価償却費	119,379	122,400
のれん償却額	—	34,060
有形固定資産除却損	—	430
株式報酬費用	34,123	16,039
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	446	89
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	18	△107
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△3,197	△494
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,312	△10,829
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,767	△249
受取利息及び受取配当金	△128	△416
支払利息	1,556	723
持分法による投資損益 (△は益)	70,091	5,974
為替差損益 (△は益)	△177	322
売上債権の増減額 (△は増加)	△83,003	26,786
たな卸資産の増減額 (△は増加)	16,814	△119,990
仕入債務の増減額 (△は減少)	174,412	△67,728
前渡金の増減額 (△は増加)	△51,751	△62,860
預け金の増減額 (△は増加)	△4,076	△7,463
未払金の増減額 (△は減少)	14,985	28,756
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,971	5,195
その他	△89,984	△80,215
小計	644,061	361,022
利息及び配当金の受取額	175	294
利息の支払額	△1,514	△681
法人税等の支払額	△313,098	△257,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	329,623	103,453
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△271,343	△56,377
無形固定資産の取得による支出	△67,877	△81,349
事業譲受による支出	—	△216,075
保険積立金の積立による支出	△815	△815
その他	△9,633	△16,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349,670	△371,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△133,320	—
長期借入金の返済による支出	△58,492	△60,778
株式の発行による収入	4,326	2,300
自己株式の取得による支出	—	△303
配当金の支払額	△70,761	△88,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,247	△147,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,362	△1,001
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△276,932	△416,083
現金及び現金同等物の期首残高	1,324,074	1,695,117
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	29,120	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,076,261	1,279,033

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年7月27日 定時株主総会	普通株式	71,267	4.50	2017年4月30日	2017年7月28日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年7月26日 定時株主総会	普通株式	88,293	5.50	2018年4月30日	2018年7月27日	利益剰余金

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,608,613	593,472	4,202,086	8,415	4,210,502	—	4,210,502
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,608,613	593,472	4,202,086	8,415	4,210,502	—	4,210,502
セグメント利益又は損失(△)	766,124	206,467	972,592	△49,531	923,061	△372,912	550,148

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△372,912千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,793,951	836,797	4,630,749	8,379	4,639,129	—	4,639,129
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,793,951	836,797	4,630,749	8,379	4,639,129	—	4,639,129
セグメント利益又は損失(△)	715,553	246,912	962,466	△84,508	877,957	△411,473	466,483

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△411,473千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。